

# 平成 30 年度岩手県計画に関する 事後評価

令和元年 12 月  
岩手県  
(令和 5 年 11 月追記)

※ 本紙は、計画期間満了の翌年度まで、毎年度追記して国に提出するとともに、公表することに努めるものとする。

(令和 3 年度事業実施分のみ)

### 3. 事業の実施状況

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【No.43 (医療分)】 看護師等養成所運営費補助事業	【総事業費】 3,502 千円
事業の対象となる区域	盛岡区域、岩手中部区域、胆江区域、両磐区域、気仙区域、釜石区域、宮古区域、久慈区域、二戸区域	
事業の実施主体	民間立看護師等養成所	
事業の期間	平成 30 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>看護職員の供給不足が続くと見込まれるなか、看護職員の養成を支援することにより、適正な看護職員数の確保を図る必要がある。</p> <p>アウトカム指標：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○看護師等学校養成所卒業生の県内就業率 59.9% (平成 29 年度卒) →60.0%以上 (平成 30 年度卒)</li> <li>○就業看護職員数 (常勤換算) 16,474.6 人 (H28 年) →16,900 人 (H30 年)</li> </ul> <p>【令和 3 年度】 看護師等学校養成所卒業生の県内就業率 64.9% (令和 2 年度卒) →70%以上 (令和 3 年度卒)</p> <p>【令和 4 年度】 ○看護師等学校養成所卒業生の県内就業率 66.6% (令和 3 年度卒) →70.0%以上 (令和 4 年度卒)</p>	
事業の内容 (当初計画)	看護師等養成所の運営に必要な経費を補助し、適正な看護職員の養成を促す。	
アウトプット指標 (当初の目標値)	<p>運営費補助養成所数：10 か所</p> <p>【令和 3 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運営費補助養成所数：9 か所</li> <li>○ 相談実施回数 12 回/校</li> </ul> <p>【令和 4 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運営費補助養成所数：9 か所</li> <li>○ 相談実施回数 12 回/校</li> </ul>	
アウトプット指標 (達成値)	<p>運営費補助養成所数：10 か所</p> <p>【令和 3 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運営費補助養成所数：9 か所</li> <li>○ 相談実施回数 12 回/校</li> </ul> <p>【令和 4 年度】</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運営費補助養成所数：9か所</li> <li>○ 相談実施回数 16.6回/校</li> </ul>
事業の有効性・効率性	<p><b>事業終了後1年以内のアウトカム指標：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 看護師等学校養成所卒業生の県内就業率 65.8%（令和元年度卒）→64.9%（令和2年度卒）</li> <li>○ 就業看護職員数（常勤換算） 16,565人（平成30年）→（令和2年度）現段階で未公表のため評価できない。</li> </ul> <p><b>【令和3年度】</b> 看護師等学校養成所卒業生の県内就業率 64.9%（令和2年度卒）→66.6%（令和3年度卒）</p> <p><b>【令和4年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 看護師等学校養成所卒業生の県内就業率 66.6%（令和3年度卒）→62.5%（令和4年度卒）</li> </ul>
	<p><b>（1）事業の有効性</b> 民間立の養成所の運営に必要な経費を補助することにより、教育内容の維持・改善が行われ、本県の看護職員の確保及び看護水準の向上に寄与するものとなっている。県内就業率は、目標値70%以上には満たなかったが、昨年度と比較して上昇しており、引続き取り組むことにより県内就業をさらに推進していく必要がある。</p> <p><b>（2）事業の効率性</b> 必要に応じて前金払い等の柔軟な対応を行うことで、運営資金が早期に確保され、効率的な看護師等養成所の運営が図られたものと考えられる。</p>
その他	<p>令和4年度所要額 126,340千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（うち H30 基金活用 3,502千円）</li> <li>（うち R01 基金活用 276千円）</li> <li>（うち R03 基金活用 47,023千円）</li> <li>（うち R04 基金活用 75,539千円）</li> </ul>